

第4回定期講演会

「木造建築の耐震性能評価・補強や復元に関する話題」

2014年 9月18日（木） 15:30-17:30

名城大学天白キャンパス 共通講義棟南 S-302教室

予約不要・参加無料

名城大学の「21世紀型自然災害のリスク軽減に関するプロジェクト」が文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業として採択され、「名城大学 自然災害リスク軽減研究センター」が発足し、5つのサブテーマで研究が進められ約2年半が経過しました。

本講演会では、上記サブテーマから建築構造に関連するテーマ2「大空間建造物の耐震安全性評価による震災リスクの軽減」の中の木造に関連し、東海地方にちなんだ話題提供を行います。

プログラム・講師

◇「木質構造の震動特性に関する実験・解析への取り組み」

武藤 厚（名城大学理工学部 /NDRR）

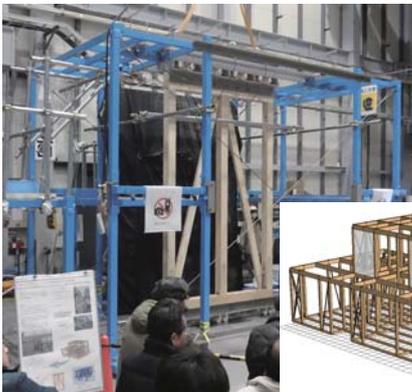
◇「木造の耐震診断・補強に関する現状と課題」

古川 忠稔（名古屋大学環境学研究科）

◇「名古屋城木造天守閣の構築システムの特徴」

片岡 靖夫（中部大学名誉教授）

※敬称略



主催： 名城大学自然災害リスク軽減研究センター (NDRR)

後援： 日本建築学会東海支部、JSCA 中部支部、愛知県建築士事務所協会

問い合わせ： 名城大学理工学部建築学科 大塚 E-mail: ohtsuka@meijo-u.ac.jp